

科目名	音楽実技Ⅱ
担当者	笠井・一村・影山・宮崎・佐藤・須田・安田

授業の概要

音楽Ⅰと同様、レベルに応じたピアノの個人レッスン（45分）と合同授業を交互に行う授業形態をとる。合同授業（45分）では保育・教育現場で使用度の高い歌唱曲の歌唱指導、コードによる伴奏法、身体表現を伴う曲、手遊び曲を指導する。コード伴奏としてⅠ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅴ₇の全調奏は必修である。記譜法を学び伴奏譜が書けるようにする。

個人レッスンでは弾き歌いの曲の学びと音楽実技Ⅰの基礎をさらに深め保育・教育現場で役立つ音楽実技の能力を高める。

授業の問題点

- ・(日程の問題)今年9、10、11月と月曜休日が多かったため、授業が隔週になることが多く、夏休みの気のゆるみが後を引き、中間テストでやっとエンジンがかかった印象であった。また入試や月曜休日のための振り替えが多く、個人レッスン非常勤の先生方にはご迷惑をおかけし、補講が様々で欠席の多い学生が出てしまった。試験期間も定常の月曜が取れず試験日に先生方は他大学の定時の授業で不都合な先生も多く、1週間倒しの試験にせざるを得ないといった状況が起こった。

- ・(学生の問題)ピアノ初心者クラスと経験者クラスの音楽の演奏能力・基礎知識の差が大きいこと、努力度、練習量で学生間の差が大きく出てきている。

- ・(初心者の割合増加)全くのピアノの初心者が今年最高68%であり、経験者のクラスにも初心者が何人も入らざるを得ないクラス分けになってしまった。

- ・(授業内容)学生を2年間で実習に出し現場で使えるような能力に引き上げるためには、単に演奏技術だけでなく、歌唱力や、音楽遊び、手遊びなどさまざまな音楽活動に対応できる能力の育成が望まれるが、その内容を1年間では初心者にはハードである。

◎・免許の為に必修であるため何とか実習に出せるよう、個人レッスンでの課題を学習カードに記入、終了していない学生に対する補修を授業外に常勤が指導しているが今年先生方が頑張ってくださり相対的に合格者が多く、学生もよく頑張っていた。

学生の授業満足度

2コマそれぞれ授業中スマホから回答したにもかかわらず3限72%、4限49%と低い回答数はなぜか、残念である。授業の満足度は4.5以上で相対的に良い結果が出ていて、協力していただいた先生方のおかげと感謝である。「ノートをとったか」以外(教科の性質上ノートをとることはほとんどない)すべての評価が4.5以上であり、今後も授業の精選に心がけたい。

授業改善の課題と方策

- ・出席が4.88と4.68良いとはいえ欠席多い学生がこのアンケートに答えていない可能性が多い。実技の授業の出席の必要性和日々の個人レッスンの時間の貴重さへの認識を持つことを今後とも伝えていくよう心掛けたい。

- ・自己の練習時間の記録を見るとまだまだ練習量が少なく努力が足りない。貴重な個人レッスンが2年間で終わることなどから、演奏能力のレベルを上げるよう努力の必要性和出席に対する緊張感を持つよう今後も指導していきたい。

- ・経験者の一人の授業が易しすぎるといった感想は今年初心者68%と多く、経験者クラスも初心者がはいいり、かみ砕くような説明が多かったからと思われる。

その他

6人の非常勤と常勤とで組んでいる授業では、月曜振替の出講曜日が変わると補講がバラバラになり非常に非常勤の先生方に気の毒である。出席のチェックだけでなく学生もバラバラに補講が入り大変やりにくい日程であった。連日の振り替え授業も練習ができず困るが、休日を出校にして曜日を变えず15回授業回数を取ることを是非希望したい。